

学習目標

歯と口腔の諸構造について、形態および組織学的な特徴を機能と関連を付けて理解する。また、これらの機能や構造的な意義を、臨床的・学際的な視点から捉え考えることができる素養を身につける。

- 教科書：1. 歯のかたち (永末書店)
- 2. 組織学・口腔組織学 第2版 (わかば出版)
- 3. 小児歯科学 第3版 (医歯薬出版)
- 講義開始時に配布するプリントに沿って進められる場合がある。
- 参考書：指定しない。但し、講義中に関連する成書等を適宜紹介する。
- 授業時間：以下の通り。

	第1時限	第2時限		第3時限	第4時限
9月29日(月)	第1回, 磯川	(発生と発育)	10月3日(金)	(発生と発育)	(発生と発育)
10月6日(月)	(発生と発育)	(発生と発育)	10月10日(金)	(発生と発育)	(発生と発育)
10月13日(月)	体育の日		10月17日(金)	(発生と発育)	(発生と発育)
10月20日(月)	(発生と発育)	第2回, 磯川	10月24日(金)	桜歯祭	
10月27日(月)	第3回, 稲毛	第4回, 稲毛	10月31日(金)	第5回, 稲毛	第6回, 本田雅
11月3日(月)	文化の日		11月7日(金)	第7回, 稲毛	第8回, 本田雅
11月10日(月)	第9回, 稲毛	第10回, 稲毛	11月14日(金)	第11回, 稲毛	第12回, 本田雅
11月17日(月)	第13回, 磯川	第14回, 磯川	11月21日(金)	第15回, 磯川	第16回, 本田雅
11月24日(月)	勤労感謝の日の振替休日		11月28日(金)	(発生と発育)	第17回, 本田雅
12月1日(月)	第18回(試験)	(発生と発育)	12月5日(金)	(発生と発育)	(発生と発育)
12月8日(月)	(発生と発育)	(発生と発育)	12月12日(金)	(発生と発育)	(発生と発育)
12月15日(月)	第19回, 清水典	第20回, 清水典	12月19日(金)	(発生と発育)	(発生と発育)
12月22日(月)	(発生と発育)	(発生と発育)	12月26日(金)	冬休み	
1月5日(月)	冬休み		1月9日(金)	(発生と発育)	(発生と発育)
1月12日(月)	成人の日		1月16日(金)	(発生と発育)	(発生と発育)
1月19日(月)	(発生と発育)	(発生と発育)	1月23日(金)	第21回, 中島	第22回, 中島
1月26日(月)	第23回, 清水治	第24回, 戸田			
1月30日(金)	第25回, 戸田	第26回, 本田和			

- オフィスアワー：磯川 桂太郎 (解剖Ⅱ) 月曜日 8:00~9:00
- 稲毛 稔彦 (解剖Ⅱ) 月曜日 15:00~18:00
- 本田 雅規 (解剖Ⅱ) 月曜日 8:00~9:00
- 清水 典佳 (矯正) 月曜日~金曜日 17:00~18:00
- 本田 和也 (放射線) 月曜日 17:00~18:00
- 中島 一郎 (小児歯科) 月曜日 17:00~18:00
- 清水 治 (口外Ⅱ) 月曜日 17:00~18:00

■成績評価：12月1日の中間試験(50%)と後期試験(50%)によって評価・判定する。受講態度を加味する。なお、中間試験の結果に応じて、補講や再試験などの措置を講じることがある。

授業日・担当者	講義項目	学習到達目標
第1回9月29日(月) 9:00~9:50 磯川 桂太郎	1. 歯と歯周組織 1) 歯の解剖 Review (教1) 第1章 (pp.8-34)	<ul style="list-style-type: none"> 前期演習科目「歯のかたち」での学習内容について、習熟度の自己チェックおよびそれを踏まえた補完解説を受け、本教科を学ぶための基礎知識を確かにする。
第2回10月20日(月) 10:00~10:50 磯川 桂太郎	1. 歯と歯周組織 2) 歯と歯周組織概要 (教1) 第1章 (pp.8-34) (教2) pp.277	<ul style="list-style-type: none"> 歯と歯周を構成する諸構造の種類と位置的な関係を図示できるようにする。 歯や歯周の構成要素それぞれについて、その組織学的(顕微鏡的)な構造を概括し、本教科で学ぶ知識を整理する“引き出し”づくりをする。
第3回10月27日(月) 9:00~9:50 稲毛 稔彦	1. 歯と歯周組織 3) エナメル質 (教2) pp.245-248	<ul style="list-style-type: none"> 象牙質, エナメル質, セメント質および骨の有機成分, 無機成分の組成と, その差異とを学ぶ。 エナメル質の物理化学的性状と, それを構成する無機塩結晶の特徴を理解する。 エナメル質有機成分の種類と性状を学び, これらとエナメル質の微細構造や無機塩結晶との関連を理解する。
第4回10月27日(月) 10:00~10:50 稲毛 稔彦	1. 歯と歯周組織 3) エナメル質 (教2) pp.249-251	<ul style="list-style-type: none"> エナメル質の成長線とその意義を学ぶ。 Hunter-Schreger 条の成因をエナメル小柱の走行と関連づけて立体的に理解する。 Retzius 条と, エナメル小柱の横紋, 周波状, 出生時の劇的な変化によって生じる新産線との関連性を理解する。
第5回10月31日(金) 11:00~11:50 稲毛 稔彦	1. 歯と歯周組織 3) エナメル質 (教2) pp.252-253, 262	<ul style="list-style-type: none"> エナメル叢, エナメル葉, エナメル紡錘の構造と成因について理解する。 エナメル質と象牙質, 象牙質とセメント質の境界部の構造について学ぶ。 エナメル質の加齢変化を学ぶ。
第6回10月31日(金) 13:00~13:50 本田 雅規	2. 組織像の見かた 1) エナメル質	<ul style="list-style-type: none"> エナメル質で観察される次の諸構造を顕微鏡下で同定するポイントを学び, 組織学的特徴と成因・機能などとの関係を再確認する。

授業日・担当者	講義項目	学習到達目標
		<p>[エナメル質]</p> <p>エナメル小柱, 小柱間質, 小柱鞘, Hunter-Schreger 条, Retzius 条, 新産線, 横紋, エナメル葉, エナメル叢</p>
<p>第7回11月7日(金) 11:00~11:50 稲毛 稔彦</p>	<p>1. 歯と歯周組織 4) 象牙質 (教2) pp.255-261</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 象牙細管の走行と分布を理解する。 • 管間象牙質, 管周象牙質, 外套象牙質, 髓周象牙質の成因, 分布, 構造を学ぶ。 • 象牙質の石灰化及パターンとそれに関連する構造を理解する。
<p>第8回11月7日(金) 13:00~13:50 本田 雅規</p>	<p>2. 組織像の見かた 1) エナメル質 2) 象牙質</p>	<ul style="list-style-type: none"> • エナメル質, 象牙質で観察される次の諸構造を顕微鏡下で同定するポイントを学び, 組織学的特徴と成因・機能などとの関係を再確認する。 <p>[エナメル質] エナメル象牙境, エナメル絨錘, 象牙芽細胞突起</p> <p>[象牙質] 髓室, 根管, 外套象牙質, 髓周象牙質, 象牙細管, 管周象牙質, 管間象牙質, 象牙前質, 球間象牙質, 球間網, 球間区 Tomes 顆粒層, von Ebner 線, Owen 外形線, Andresen 線</p>
<p>第9回11月10日(月) 9:00~9:50 稲毛 稔彦</p>	<p>1. 歯と歯周組織 4) 象牙質 (教2) pp.261-266</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 象牙質成長線の成因, 意義を理解する。 • 象牙質に加わる刺激に対しての象牙細管の組織学的反応とその臨床的な重要性を学ぶ。 • 象牙質知覚メカニズムの学説を学ぶ • 象牙質に至る神経の名称や走行を学ぶ。 • 加齢や防御反応としての象牙質の組織学的変化を理解する。
<p>第10回11月10日(月) 10:00~10:50 稲毛 稔彦</p>	<p>1. 歯と歯周組織 5) 歯髄 (教2) pp.267-276</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 歯髄の細胞や基質線維の走向を学ぶ。 • 歯髄細胞層の構築と歯髄における脈管神経の分布, 形態学的特徴を理解する。 • 加齢にともなう歯髄の変化や, 象牙質粒の分類と成因を学ぶ。 • 刺激に対する歯髄組織の防御反応とを学び, 臨床における歯髄保護の重要性を理解する。
<p>第11回11月14日(金) 11:00~11:50</p>	<p>1. 歯と歯周組織 6) セメント質</p>	<ul style="list-style-type: none"> • セメント質形成過程, セメント質にみられる細胞や基質線維の特徴を学ぶ。

授業日・担当者	講義項目	学習到達目標
稲毛 稔彦	(教2) pp.278-285 7) 歯槽骨 (教2) pp.287	<ul style="list-style-type: none"> 顎骨および歯槽骨の構造を理解する。 固有歯槽骨の組織学的な構造を学び、束状骨と層板骨の相違を理解する。 骨芽細胞や破骨細胞の形態や機能を理解する。
第12回 11月14日(金) 13:00~13:50 本田 雅規	2. 組織像の見かた 2) 象牙質 3) 歯髄	<ul style="list-style-type: none"> 象牙質, 歯髄で観察される次の構造あるいは細胞を顕微鏡下で同定するポイントを学び, その組織学的特徴と成因・機能などとの関係を再確認する。 <p>[象牙質] 原生象牙質, 第2象牙質, 修復象牙質, 透明象牙質, 硬化象牙質, 死帯</p> <p>[歯髄] 象牙芽細胞層, 細胞稀薄層, Weil 層, 細胞稠密層, 象牙芽細胞, 線維芽細胞, 膠原線維, 血管, 神経線維, Raschkow 神経叢</p>
第13回 11月17日(月) 9:00~9:50 磯川 桂太郎	1. 歯と歯周組織 8) 歯根膜 (教2) pp.101-104, 293-300	<ul style="list-style-type: none"> 広義には関節と位置づけられる歯根膜の役割と, それを実現する上での組織学的な特徴を学ぶ。 巨視的な形態(特にその厚み)について, 部位差や加齢に伴う変化を学ぶ。 歯根膜に存在する種々の細胞について, その特徴, 役割, 発生学的な由来を整理・理解する。
第14回 11月17日(月) 10:00~10:50 磯川 桂太郎	1. 歯と歯周組織 8) 歯根膜 (教2) pp.295, 300-304	<ul style="list-style-type: none"> 歯根膜主線維の走行・分類, 分子構成, 機能的役割, また, 歯根膜の弾性線維系線維群の組織学的な特徴を学ぶ。 動静脈と神経線維の走行・分布を学び, 脈管神経隙との関係を理解する。 歯根膜に分布する神経終末, 特に感覚性の受容器をなす構造の形態と機能的な特徴を学ぶ。
第15回 11月21日(金) 11:00~11:50 磯川 桂太郎	1. 歯と歯周組織 9) 歯肉と口腔粘膜	<ul style="list-style-type: none"> 口腔粘膜を機能的に分類し, それらの特徴と口腔内での分布を知る。 歯と歯肉の境界部における発生学的な特徴とその機能的意義を把握する。 歯肉線維の種類, 走行と機能的意義, 歯肉の血液供給と神経分布を理解する。

授業日・担当者	講義項目	学習到達目標
	(教2) pp.317-323 (教2) pp.305-316, 323	<ul style="list-style-type: none"> 表皮および粘膜上皮における非マルピギー系細胞や神経終末の形態学的特徴、機能的役割を理解する。
第16回 11月21日(金) 13:00~13:50 本田 雅規	2. 組織像の見かた 4) セメント質 5) 歯根膜	<ul style="list-style-type: none"> セメント質, 歯根膜で観察される次の構造あるいは細胞を顕微鏡下で同定するポイントを学び, その組織学的特徴と成因・機能などとの関係を再確認する。 <p>[セメント質] セメントエナメル境, 細胞性セメント質, 無細胞性セメント質, セメント細胞, セメント小腔, セメント細管, Sharpey 線維, 類セメント質, 中間セメント質</p> <p>[歯根膜] 歯根膜線維(主線維), 線維芽細胞, セメント芽細胞, 骨芽細胞, 脈管神経隙, Malassez 上皮遺残</p>
第17回 11月28日(金) 13:00~13:50 本田 雅規	2. 組織像の見かた 6) 歯槽骨 7) 歯肉	<ul style="list-style-type: none"> 歯槽骨, 歯肉で観察される次の構造あるいは細胞を顕微鏡下で同定するポイントを学び, その組織学的特徴と成因・機能などとの関係を再確認する。 <p>[歯槽骨] 固有歯槽骨, 束状骨, Sharpey 線維, 層板骨, 歯槽硬線, 骨芽細胞, 骨細胞, 類骨</p> <p>[歯肉] 口腔上皮, 遊離歯肉, 付着歯肉, 遊離歯肉溝, 歯-歯肉境, 歯肉溝, 歯肉溝上皮, 細胞浸潤, 接合上皮, 歯肉線維</p>
第18回 12月1日(月) 9:00~9:50 磯川 桂太郎 稲毛 稔彦	中間試験	<ul style="list-style-type: none"> 第 1-5,7,9-11,13-15 回の講義を範囲とする筆答試験を行う。 詳細は別途通知するが, この試験の結果が思わしくなかった者に対しては, 別途補習措置を講じる。
第19回 12月15日(月) 9:00~9:50 清水 典佳	1. 歯と歯周組織 10) 歯周組織の改造 (教2) pp.243-244 302-303	<ul style="list-style-type: none"> 矯正治療にともなう歯の移動時における歯周組織および歯の組織変化について理解する。
第20回 12月15日(月) 10:00~10:50 清水 典佳	1. 歯と歯周組織 10) 歯周組織の改造 (教2) pp.290-291	<ul style="list-style-type: none"> 矯正治療時の顎骨の組織変化について理解する。

授業日・担当者	講義項目	学習到達目標
第21回1月23日(金) 11:00~11:50 中島 一郎	1. 歯と歯周組織 11) 歯の発育障害 (教3) pp.69-88	<ul style="list-style-type: none"> • 歯の発育段階と障害の種類を理解する。 • 歯の障害としての歯数, 形態, 結節, 歯髓腔の発生時, 原因, 所見について学ぶ。 • 障害の臨床上の診査, 処置法を学ぶ。
第22回1月23日(金) 13:00~13:50 中島 一郎	1. 歯と歯周組織 11) 歯の発育障害 (教3) pp.89-95	<ul style="list-style-type: none"> • 歯の形成不全の種類, 発生時期を学ぶ。 • 歯の萌出異常として新生歯, 生歯困難, 萌出遅延, 異所萌出, 低位歯などについて原因, 所見を知る。 • 萌出異常の臨床診査, 処置法を学ぶ。
第23回1月26日(月) 9:00~9:50 清水 治	3. 口腔組織 1) 唾液腺の発生と再生 (教2) pp.341 2) 唾液腺の分泌 (教2) pp.44-49,56-57	<ul style="list-style-type: none"> • 唾液腺の発生段階を理解する。 • 発生過程での細胞増殖, 分化, branchingなどを調節する因子とその働きを学ぶ。 • 再生過程における唾液腺の変化を学ぶ。 • 液体や電解質の分泌とタンパク質の開口分泌の2様式(調節性分泌, 構成性分泌)を理解する。
第24回1月26日(月) 10:00~10:50 戸田 善久	3. 口腔組織 3) 顎関節の形態と組織 (教2) pp.345-349	<ul style="list-style-type: none"> • TMJ 各部の形態や組織像を機能と関連づけて学ぶ。
第25回1月30日(金) 9:00~9:50 戸田 善久	3. 口腔組織 4) 顎関節の加齢変化 (教2) pp.350-353	<ul style="list-style-type: none"> • 下顎頭や顎関節の発生とその意義を理解する。 • 加齢にともなう顎関節と上・下顎骨の形態変化について学習する。
第26回1月30日(金) 10:00~10:50 本田 和也	3. 口腔組織 5) 顎関節の動き	<ul style="list-style-type: none"> • 顎関節を構成する各部の名称を学ぶ。 • 生体における顎関節円板の位置や形態を動画像を通して学び, 顎関節円板の役割を理解する。 • 顎関節症に生じる円板障害について学び, 円板の位置や形態変化を理解する。